

1月12日(土)、3連休の初日でしたが、世知原小学校を会場として、2つの行事が行われましたので、ご紹介をさせていただきます。

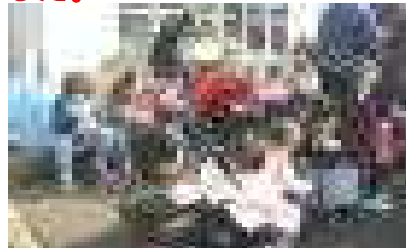
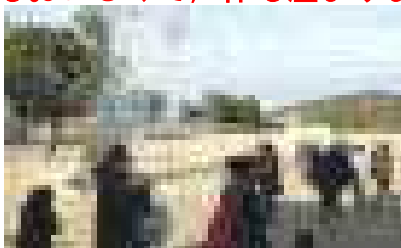
どんど焼き

世知原少年自然の家主催で、午前中に、本校の運動場で「どんど焼き」が行われました。「どんど焼き」とは、小正月(1月15日)の行事で、お正月の松飾り、注連縄、書き初めなどを家々から持ち寄り、一か所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わるお正月の火祭りの行事です。一般的には、田んぼや空き地に、長い竹や木、藁、茅、杉の葉などで作ったやぐらを組み、先ほど記載した正月飾りなどを入れて燃やします。その煙に当たると1年間健康でいられるなどの言い伝えがあり、無病息災、五穀豊穡を祈る伝承行事となっています。

「どんど焼き」の語源は、火が燃えるのを「尊(とうと)や尊(とうと)や」と離し立てた言葉が訛ったから、あるいは、どんどん燃える様子からなど、諸説あるようです。

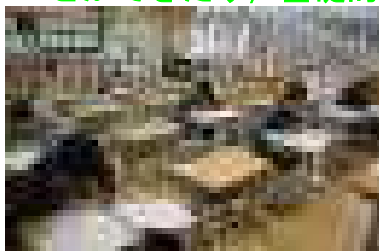
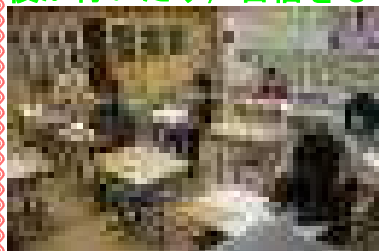
さて、前日の金曜日に、見事に積まれたやぐらに、朝から地域の方々がお正月の飾りなどを入れられました。そして、いよいよ火付けの時間。少年自然の家の所長さんと小学生4人が火付け役となって、やぐらに火を付けると、一気に燃え上がりました。途中竹の勢いよく爆ぜる音が響きましたが、これは災いを退けるという言い伝えがあるそうです。

火の勢いが少し落ち着いたところで、多くの人が周りに広がっている煙に近づき、体に当てていました。私も、しっかりと体全体に当てましたので、今年1年健康に過ごせると感じて感謝しています。ひと段落したところで、体育館入口前で、「七草がゆ」と紅白の餅が入った「ぜんざい」が参加されたみなさんに振る舞われました。私も両方いただきました。とてもおいしくて、体も温まりました。



漢字検定

午後からは、2つの教室を使ってPTA主催による「漢字検定」が行われました。これは「日本漢字能力検定協会」が推奨しているもので、定期的を実施されています。自分の力や学年を考えて、受験する級を決めます。合格すると「合格証書」と「合格証明書」がもらえます。検定に向けて練習することにより、学ぶ習慣が付いたり、自信をもつことができたり、基礎的な学力が身に付いたりすることも考えられます。



この日は12人がチャレンジしました。みんな真剣に取り組んで、最後までねばり強く問題を解いていました。全員が合格できるといいなあと思いました。

おめでとう

第47回長崎県読書感想文コンクール